

ビジネスのチャンスは、 今アジアに 転がっているかも。

日本企業とアジアの
企業の違いって？

鈴木先生、教えてください。

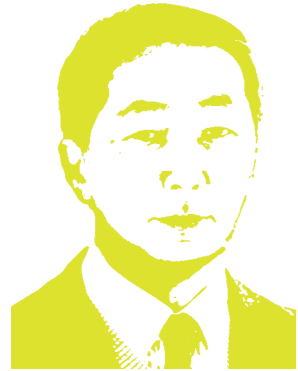
今、海外進出をする企業が増えています。特にアジア諸国への進出は約7割と
言われています。ビジネスチャンスも
たくさんあり、例えば、日本の回転寿司や
温水洗浄便座が注目されるなど、
海外でまだ普及していない製品や
サービスの中に多くの可能性があります。
今も終身雇用の文化が根強い日本と違い、
他のアジアの企業は、どの職務ができるかが
重要視される“ジョブ型雇用”が一般的です。
そのため会社に対する愛着や忠誠心はほぼなく、
他にいい条件の仕事があるとすぐに転職してしまうので、
現地で優秀な人材の確保が難しい面もあります。アジアに進出
した日本企業は、今後、現地とより融合していくのではないか
と思います。海外進出をしても、企業のトップ層は日本人のまま
なのが一般的ですが、現地の人も昇進させていくことで、現地に
より受け入れられやすい製品やサービスが生まれるからです。
ある日、突然自分の会社が海外進出して、海外で働くことに
なる可能性は今、珍しくありません。普段から



海外企業の特徴や、働き方の違いに目を向けておく
だけでも、いざという時の備えになると思います。

経営学科

教授 鈴木 岩行



和光3分大学

さっくりオープンキャンパス〈予約制〉

13:00
▽
16:30

9/9(土)・11/4(土)

総合型選抜前期

9/13(水)～ 出願受付

学校推薦型選抜

11/1(水)～ 出願受付

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

<https://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学